

研究についての説明

はじめに

この文書は、研究課題名「YOSAKOI ソーラン実践している中高齢女性の身体機能の検討」の研究において、既存情報を利用することをお知らせするための説明文書です。わからないことや、心配なこと、疑問に思ったことなどがありましたら、どんなことでも遠慮なく説明者または研究責任者にお尋ねください。

説明者 所属 筑波大学大学院 人間総合科学研究科 体育科学専攻
氏名 守屋 俊甫
連絡先 s1721554@s.tsukuba.ac.jp

研究責任者 所属 筑波大学 体育系 助教
氏名 小崎 恵生
連絡先 kosaki.keisei.gm@u.tsukuba.ac.jp

記

1 研究課題名

この研究の研究課題名は、「YOSAKOI ソーラン実践している中高齢女性の身体機能の検討」です。この研究は、筑波大学体育系研究倫理委員会の審査を経て、筑波大学体育系長の許可を受けて実施しています。

2 研究の背景

近年、多世代が実践できるダンス系の運動種目として YOSAKOI ソーランが注目されています。YOSAKOI ソーランチームを対象とした先行研究において、YOSAKOI ソーラン祭りに向けて仲間と共に YOSAKOI ソーランを実践することは、心理的・社会的なストレスを軽減し、メンタルヘルスが改善することが報告されています。さらに、YOSAKOI ソーラン祭りの参加者を対象としたアンケート調査において、YOSAKOI ソーラン祭りへの参加によって社会性が高まるといふ報告もあります。このように、YOSAKOI ソーランの実践は、精神・社会的機能を高める可能性が示されています。その一方で、YOSAKOI ソーランの実践が身体機能に及ぼす影響は十分に明らかにされていません。

3 研究の目的及び意義

本研究では、YOSAKOI ソーランを実践している中高齢女性と YOSAKOI ソーランを実践していない中高齢女性の身体機能を比較することを目的としました。主要評価項目は、筋力および柔軟性です。本研究では、YOSAKOI ソーランを実践している中高齢女性では、YOSAKOI ソーランを実践していない中高齢女性と比較して身体機能が高値を示すと仮説を立てました。YOSAKOI ソーランが身体機能の低下抑制に有効な運動種目であることに科学的な根拠を得ることができれば、中高齢者の健康寿命を延伸するための新たな方策の確立に寄与する可能性が考えられます。

4 予想される研究上の貢献・期待される利益

YOSAKOI ソーランは、生きがいや心の豊かさを育み、世代を超えた仲間作りを可能にするという特性を持った運動種目であると予想されるため、中高齢者に YOSAKOI ソーランの実践を推奨することは、習慣的な運動実践者の増加に貢献する可能性があります。また、中高齢女性における YOSAKOI ソーランの実践において、身体機能の低下を抑制することが明らかになれば、中高齢女性の健康寿命の延伸に貢献する運動種目として期待できます。

5 研究実施期間及び試料・情報等の保存期間

この研究は、2026年3月31日まで実施する予定です。

研究期間終了後、2032年3月31日まで、取得した情報を保存します。

6 研究実施場所及び研究実施体制

(1) 共同研究の有無

本研究は体育系のみで実施する研究であることから、共同研究はありません。

(2) 研究実施場所

本研究は過去に取得した情報を用いるため、研究施設に来訪する必要はありません。

(3) 組織

研究組織は、別紙の通りです。

7 研究対象者

本研究は中高齢女性約200人を対象としており、選定基準は YOSAKOI ソーランの実践経験が調査されていて、身体特性および身体機能のデータが取得されている者としております。また、本研究は既存の情報を用いた研究であることから、新たに研究施設へ来訪する必要はなく、謝金等も発生しません。

8 実施内容

(1) 実施方法の説明

本研究は過去に取得した情報を用いて、YOSAKOI ソーランを実践している中高齢女性と YOSAKOI ソーランを実践していない中高齢女性の身体機能を比較することを目的とします。本研究における評価項目は以下に示す通りです。

- ① 身体機能
 - ・筋力
 - ・柔軟性
- ② 身体特性
 - ・身長
 - ・腹囲
 - ・体組成（バイオインピーダンス法）
 - ・内臓脂肪
- ③ 質問紙

・身体活動量

(2) 情報の提供を受けるための手続

① どこから提供を受けるか

下記に示す研究において取得した情報を使用します。また、これらの研究は自機関および他機関で実施しました。既に研究期間が終了している研究のデータ利用については、本倫理申請書によって改めて承認を得ることとします。各研究の倫理承認番号、課題名、研究期間は以下の通りです。

① H30-161「加齢に伴うリン代謝動態の変化：一般成人と慢性腎臓病患者の比較検討」
～2025年3月31日

② 通知番号 第259号（承認日平成29年1月6日）「有酸素性運動能力に関連する遺伝子多型が循環系機能に及ぼす影響」～2021年3月31日

② どのような目的で既存試料・情報とされたものか

① 加齢に伴うリン代謝動態の変化を検討すること

② 日本人において、運動能力に関連することが明らかにされている遺伝子多型と循環系機能との関連を横断的に検討すること

③ 提供を受ける試料・情報は何か（個人が識別される情報を含むか否か）

本研究で提供を受ける情報は、体力指標、身体的指標、質問紙などです。他機関から提供を受ける全ての情報に個人が識別される情報は含みません。

④ 提供を受けるためにどのような手続をとるか

ア 提供を受けるための自機関での手続の内容

研究責任者が運営しているホームページで公開します。

イ 提供を受けるための提供元機関での手続の内容

研究責任者が運営しているホームページで公開します。

9 研究における倫理的配慮

(1) 研究の対象となる個人の人権擁護（①個人情報の管理、②個人情報の保管、③個人情報の破棄、④個人情報の開示等、⑤プライバシーの保護）

①個人情報の管理

- ・ 研究対象者への説明書や解析するデータには、個人の名前・住所等の個人情報は含みません。
- ・ 個人名等を入手する場合は、情報入手後は直ちにコード化し、個人を復元できないように匿名化します。
- ・ 入手した個人情報等は、独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律、その他の法令を遵守し、また、研究対象者から同意を得られた範囲内で取り扱います。
- ・ 分析に際しては、データをコード化し、個人が特定されないようにします。

②個人情報の保管

- ・ 収集したデータは匿名化して侵入対策及びウイルス防御対策を施したネットワークに接続

されていないPCに保存し、パスワードを設定して研究責任者以外はアクセスできないようにします。

- ・ 研究の実施に伴って取得された個人情報等の漏えい、滅失またはき損の防止その他の安全管理のために適切な取り扱いを行ないます。
- ・ 収集したデータ及び紙媒体は、総合研究棟 D634 室に設置した鍵のかかるロッカーに施錠して保管します。

③個人情報の破棄

- ・ 電子データは、保存期間満了時に完全に消去します。
- ・ 紙媒体の調査用紙一式は、保存期間満了時にシュレッダーにより裁断破棄します。

④個人情報の開示等

- ・ 研究結果を論文発表および学会発表で公開します。
- ・ 研究結果を公開する際には、研究対象者個人を特定できる個人情報等を開示しません。
- ・ 個人を復元できないように匿名化したデータは、匿名化後に研究への同意撤回がなされても、該当する者のデータを取り除いたり修正したりすることができません。なお、その場合には、個人が特定されることはありません。
- ・ 保有する個人情報に関して情報の開示等の求めがあった場合には、該当する個人情報を開示します。また、他の研究対象者の個人情報の保護及び当該研究の独創性の確保に支障がない範囲内で研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧できるようにします。
- ・ 研究対象者等及びその関係者からの相談に対して問い合わせ先を通知して対応します。

⑤プライバシーの保護

- ・ 研究で取得した個人の映像・肖像は、研究結果を公表する際には、個人が識別できないように画像処理して使用します。

(2) 研究の対象となる個人に理解を求め同意を得る方法（インフォームド・コンセント等）

- ・ 研究への参加は研究対象者自身の自由意思によって決定され、研究への参加に同意した後であっても、論文発表までの間撤回できます。また、そのことによって研究対象者が不利益な取扱いを受けることはありません。ただし、復元できない方法で個人を識別できないように匿名化した後は、同意を撤回できません。

(3) 研究によって生ずる個人への不利益及び危険性に対する配慮

本研究は、既存の情報を使用するため該当しません。

10 緊急時対応及び被害の補償

(1) 緊急時対応と中止基準

本研究は、既存の情報を使用するため該当しません。

(2) 被害の補償

本研究では該当しません。

11 研究資金

この研究は、教育研究経費によって実施しています。

12 利益相反（共同研究先の企業・団体等との関係を含む）

この研究組織には、利益相反事項に該当する者はありません。

13 研究結果の公開

この研究の結果は、学会発表および論文発表にて公開します。
研究結果を公開する際には、研究対象者を特定できる個人情報等は、開示しません。

14 その他

15 問い合わせ先

この研究は筑波大学体育系研究倫理委員会の承認を得て、対象者の皆様に不利益がないよう万全の注意を払って行われています。研究への協力に際してご意見ご質問などございましたら、気軽に説明者又は研究責任者にお尋ねください。あるいは、体育系研究倫理委員会までご相談ください。

【問い合わせ先】

所属：体育系 職名：助教 氏名：小崎 恵生
電話番号：029-853-5990 E-mail：kosaki.keisei.gm@u.tsukuba.ac.jp

【筑波大学 体育芸術エリア支援室研究支援】

電話番号：029-853-2571 E-mail：hitorinri@un.tsukuba.ac.jp